

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論 「プレイパークを通してみえる現代社会」
担当形態	単独	担当教員	由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	②, ③, ④		
テキスト	資料を適宜用意します。		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	4 単位・演習
到達目標	・「プレイパーク」に参加し、そこにいる子どもや大人と関わりを持つことができる。 ・「プレイパーク」という場が子どもや大人にとってどんな場になっているか、どんな意味があるのか、体験を交えながら説明することができる。 ・「プレイパーク」の活動から見えてくる現代社会の課題を説明することができる。		
授業の概要	「プレイパーク」とは冒険遊び場とも呼ばれ、「自分の責任で自由に遊ぶ」というモットーを掲げ、地域の大人が運営している子どもの遊び場です。元々は、子どもが自由に遊べる遊び場を作りたいという思いから始まった場ですが、気がつくとなんか役割りを持つようになって今日に至ります。この授業では、四街道にある「NPO 法人四街道プレイパーク どんぐりの森」の様々な活動に参加するとこを通して、そこから見えてくる現代の社会を考えます。土曜日を中心に授業時間以外の活動が多くあります。		
授業計画	第 1 回プレイパークはどういうところか～子どもにとって 第 2 回／第 3 回プレイパーク参加① 第 4 回振り返り 第 5 回／第 6 回プレイパーク参加② 第 7 回振り返り 第 8 回／第 9 回プレイパーク参加③ 第 10 回／第 11 回プレイパーク参加④ 第 12 回前期まとめ 第 13 回プレイパークはどういうところか～大人にとって 第 14 回／第 15 回プレイパーク参加⑤ 第 16 回振り返り 第 17 回／第 18 回プレイパーク参加⑥ 第 19 回振り返り・プレイパークのもつ様々な役割 第 20 回／第 21 回プレイパーク関連の活動に参加⑦ 第 22 回振り返り 第 23 回プレイパーク関連の活動に参加⑧ 第 24 回 1 年間のまとめ		

準備学習と必要時間	プレーパークに参加する際に自分なりの視点を考える。振り返りのレポートを作成し話し合いの準備をする。渡された資料を読み、プレーパークについての理解を深める。(60分以上)				
評価方法	フィールドワークへの参加状況 — 40% 話し合いへの参加状況(発言内容、取組み姿勢等) — 30% レポート — 30%				
参考文献	門脇厚司／子供の社会力(岩波新書) 大村樟子／遊びの力(萌文社) A・ベンソン／新しい遊び場(鹿島出版会) 塩野谷斉・木村歩／子どもの育ちと環境(ひとなる書房)				
特記事項	なし				
課題へのフィードバック方法	月に1回程度プレーパーク関連の活動に参加します(8回程度を予定)。 土曜日に活動に参加することが多いです。JR 千葉←→四街道(片道 199 円) 交通費・現地講師料等で 8000 円程度かかります。 提出されたレポートに基づいて話し合いを行い、教員もコメントを述べます。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
実務経験のある教員等による授業内容					